

— 測れない物は作れない：物体内部の粘弹性分布を非破壊で可視化 —

サンプル内部の粘弹性分布を光や弾性波を使って可視化する技術を開発します。
主に生物サンプル（細胞、臓器）や工業材料（ゲル、金属）内部の可視化を目指します。

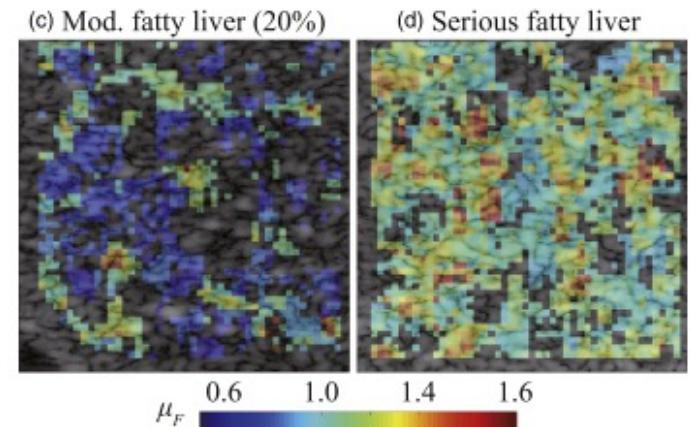
従来：試料内部の粘弹性は剖面を出して計測 → 波動伝搬を使うことで切らずに計測

医工学的視点：患者を傷つけない・再生医療のために作った組織を壊さない
工業的視点：抜き取り検査不要・その場（高温・高圧環境）で検査

様々な計測器を組み合わせて
オリジナル粘弹性顕微鏡を開発



ラット脂肪肝を
計測して病変進行を
客観的に可視化
→ 病変進行度評価



計測技術開発
(光・超音波計測) **×** **粘弹性推定法開発**
(弾性波動伝搬解析)

柔らかいものから固いものまで粘弹性の可視化を目指します

助教 田村和輝 (大学院所属：工学研究院システムの創生部門)

HP: <https://ws-lab.ynu.ac.jp/>